

百年記念館友の会

取り組みの概要

百年記念館で企画する多くの事業は、専門的な知識や技術を持った方々の団体である「友の会」の協力・援助で実施しています。「友の会」は、会員として記念館事業で活動するとともに、知識や技術を深めています。また、館内で売店を運営しており百年記念館で活動する陶芸や七宝焼のサークルの作品や展示室の解説書、調査研究・収蔵資料に関する書籍を扱っています。

協働の きっかけ

百年記念館をより多くの皆さんに利用してもらうためには、職員だけでは十分行き届かない点があることから、百年記念館の事業に興味を持たれている専門的な知識や技術を持った方々を公募し、その方々で昭和59年から「友の会」が結成されました。百年記念館の事業に対して「友の会」に参加・協力いただくことで、より充実した内容にすることができます。

帯広百年記念館



帯広百年記念館友の会

強み

役割

協働の 成果

百年記念館の事業に多くの人たちが深く関わることにより、充実した内容の事業展開が図られています。

協働のポイント

「友の会」の会員数が多いほど、事業の質・量ともに充実することとなるので、会員数の増加を図ることが課題で

①百年記念館の事業、たとえば博物館講座(考古、アイヌ文化、開拓の歴史、自然等)や陶芸教室などを共同で実施し、事業に必要な経費の一部を「友の会」が負担

②百年記念館売店の運営

